ちはやとしょかん

ほんとこうしん

2026年10月発行
としょくりつ　ちはやとしょかん

10月のおすすめ本

『おばけのジョージー』Eフラ

ロバート・ブライト／さく・え　光吉夏弥／やく　福音館書店

ジョージーは、ホイッティカーさんのちいさな家のやねうらにすむ、ちいさなおばけ。まいばんおなじじかんに、いえのかいだんをみしりとさせ、ひろまのドアをぎーといわせました。そのおとで、みんなはじぶんがなにをするじかんなのかわかりました。ところが、あるとき、ホイッティカーさんが、かいだんのゆるんだ板にクギをうち、ドアにあぶらをさすと、ちょっとおかしなことになりました。

『黒ネコジェニーのおはなし　2』ア

エスター・アベリル／作・絵　松岡享子／共訳　張替恵子／共訳　福音館書店

ハロウィンの晩、黒ネコのジェニーは、ご主人のキャプテン・ティンカーがまいてくれた赤いマフラーをつけて、窓から外に飛び出しました。今夜は、ネコたちにとって特別な夜なのです。

ところが、事件がおこって、ジェニーは勇気を出さなければいけなくなりました。

さぁ、ジェニーは、ぶじ困難をのりこえることができるのでしょうか？！

★ジェニーのお話は、シリーズが全部で3冊あります。

『きんいろあらし』（やなぎむらのおはなし）Eスト

カズコ・G・ストーン／作　福音館書店

大きなやなぎの木の下にある、小さな生きものたちの村「やなぎむら」。

きんいろあらしがやってくると聞いて、やなぎむらの虫たちは、それぞれにふきとばされないようくふうをして、かくれたり、つかまったりしました。

でも、あらしがとおりすぎたあと、クモのセカセカさんがいません！！

いったいどこにとばされてしまったのでしょうか・・・？

★この本は、虫たちが細かくかきこまれていて、絵をみるだけでも楽しい本です。シリーズになっていて、いろいろな季節の内容があるので、他の絵本も読んでみてくださいね！

♪きせつのはなし♪

10月31日は「ハロウィン」ですね。

ハロウィンのもとになったのは、秋の収穫を感謝するお祭りの日とされています。かぼちゃをくりぬいてランタンを作るのは、それを玄関において、悪いおばけをこわがらせておいはらうためなのだそうです。

また、「見た目がこわければ、なかまだと思って、わるさをしないだろう」とかんがえて、こわい仮装をするようになったといわれています。今では、すきな仮装をする人が多いですね。

おはなし会について

千早図書館は、改築工事のため休館しています。

臨時窓口での、おはなし会の再開の時期は未定です。決まりしだい、ホームページなどでお知らせいたします。